

編集後記

多根総合病院 副院長 渡瀬 誠

2015年のノーベル賞には、生理学・医学賞に大村智・北里大学特別栄誉教授が、物理学賞に、梶田隆章・東京大学宇宙線研究所所長が選ばれた。大村教授は、静岡県ゴルフ場近くで採取した土の中の微生物から、途上国を中心に現在2億人以上が使う抗寄生虫薬「イベルメクチン」のもとになる物質を発見し多くの人々を失明から救った。また梶田氏は、岐阜県飛騨市の巨大観測装置「スーパーカミオカンデ」を使った研究で、物質の最小単位である素粒子の一つ、ニュートリノに重さ（質量）があるのを初めて発見し、従来の物理学の常識を打ち破り、宇宙や物質が誕生した謎の解明に迫る業績が評価された。これで日本人として24人の方々がノーベル賞を受賞したことになる。毎年のようにノーベル賞を受賞する日本人の努力、勤勉さとその業績に驚かされる。

今年で5年目を迎えた多根総合病院医学雑誌には 原著6編、症例報告5編、メディカルトピックス1編、看護研究4編、その他2編と過去最高の18の論文が並んだ。今回は新しい試みとして未だ発生機序が解明されていない一過性全健忘に関する症例報告とその文献的な考察をメディカルトピックスとして掲載し、そしてDSコーディネーターの意義とその啓蒙、今後の発展を願って“DSコーディネーター特集”を組ませていただいた。どの論文も指導責任者や査読者と何度も意見を戦わせた後に完成した素晴らしい論文である。今後の多根総合病院医学雑誌の更なる発展を祈念するとともに、著者をはじめとしてそれぞれの論文に関わった方々、事務局のご尽力に感謝申し上げます。

多根総合病院医学雑誌編集委員会

委員長：丹羽 英記（院長）

副委員長：渡瀬 誠（副院長）

委員：林 美樹（副院長）／廣田 哲也（救急科）／小川 淳宏（外科）／森 琢児（外科）／

濱 典男（内科）／小川 竜介（脳神経外科）／細川 幸成（泌尿器科）／

青池 太志（神経内科）／山中 清孝（整形外科）／松尾 良一（放射線科）／

吉原 渡（中央検査部）／竹浦 久司（医療技術部）／大崎 和子（看護部）

事務局：上野 梢（総務）／織田 恵美（総務）

多根総合病院医学雑誌

第5巻 第1号

平成28年3月 発行

編集兼発行 多根総合病院（代表：丹羽英記）

大阪市西区九条南1丁目12番21号

〒550-0025 電話(06)6581-1071(代)

FAX(06)6585-2757

E-mail ikyoku@tane.or.jp

(担当 上野, 織田)

印刷所 株式会社 学術出版印刷

大阪市此花区春日出中2-14-9

〒554-0022 電話(06)6466-1588